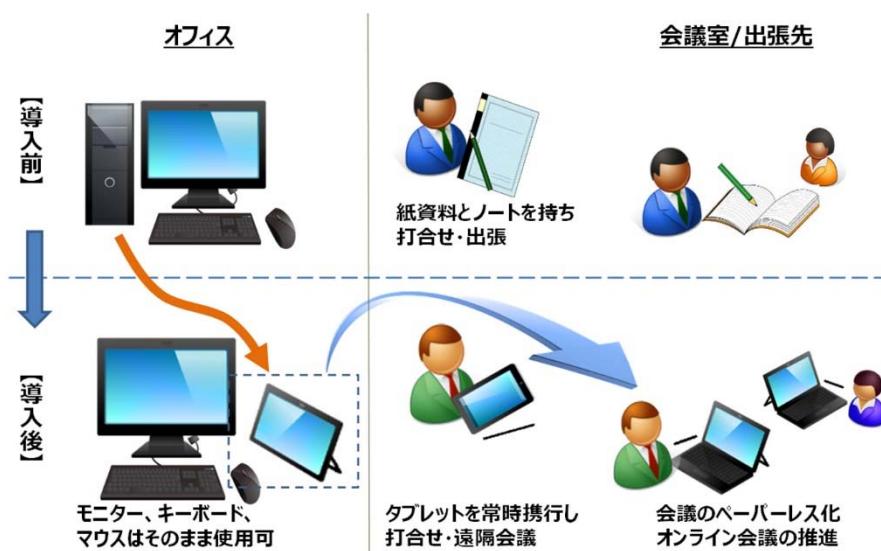


NEWS RELEASE

一人ひとりの働き方に応じた業務効率化を推進
全従業員を対象にタブレットパソコンを配布

三菱電機株式会社は、働き方改革のさらなる推進に向けて、現在デスクトップパソコンで業務を行う全従業員を対象に、タブレットパソコン約2万台を2019年3月までに配布し、一人ひとりの働き方に応じた業務効率化を目指します。

パソコンで業務を行う全従業員約3万人が持ち運び可能な端末を所有することにより、一人あたり月7時間程度の業務効率化を目指すほか、会議のペーパーレス化や遠隔会議の推進により、紙印刷費用の20%削減や出張旅費の10%削減などを目指します。



タブレットパソコン導入の狙い

- 会議資料の電子化をこれまで以上に進め、会議のペーパーレス化を実現し、資料印刷時間や議事録作成時間の削減を進めるほか、オンライン会議による意思決定の迅速化などにより、会議にかかる一連の業務時間を削減
- これまで決められた会議室からしかできなかつた遠隔会議の開催・参加が、場所や時間を選ばず可能となり、出張などの移動時間を削減
- ノートパソコンとしてもタブレットとしても利用できる2 in 1タブレットパソコンの導入により、従来のパソコンとしての利用だけでなく、直感的なタッチパネル操作や電子ペンによる電子データへのメモの記入など、多様なユーザーインターフェースによる一人ひとりの使用環境にあわせた効果的な活用が可能

働き方改革への取り組みについて

当社は2016年4月から「働き方改革」を経営施策として掲げ、従業員が仕事と生活のバランスをとりながら、心身の健康を維持し、いきいきと働ける職場環境の実現に取り組んでいます。

具体的には「業務スリム化による生産性向上」、「成果・効率」のさらなる追求、「仕事と生活」双方の充実、「職場内コミュニケーションの促進」の4つの視点に基づき、各事業所で会議内容・回数の見直しや各種資料の削減・ペーパーレス化などの活動に取り組み、業務効率化を進めています。